

本吉夢プロジェクト委員会

本吉町まちづくり通信

地域を元気に 夢をカタチに！ 本吉夢プロジェクトニュース 第19号

ようこそ本吉町へ！！

NPJプログラム受入れ事業

夢プロでは6/12～6/19まで、アメリカ人学生の方々を受入れました。日米の相互理解を深めるため、本吉町内の小中学校や、ホームステイ先となったご家族の方々の協力のもと、様々な生活や体験、学習の機会をいただき、素晴らしい8日間となりました。震災に関する知見も深めてもらい、より気仙沼市本吉町と言う場所を知っていただく良い機会となり、私達としても本吉町の観光の強みや豊富な資源があるということを再認識できた事業となりました。

今後様々な視点で本吉町の魅力を伝えるきっかけになればと思います。



協力して下さったホストファミリーの方々には総じてご満足いただけました。短い期間での準備等大変お世話になりました。地域との繋がりを強く感じた事業となり、『人』も本吉町の魅力の一つであると感じました。



教育機関の受入れの様子

受入れに協力してくださった大谷小学校、津谷中学校での交流は、世代も近いこともありあっという間に打ち解けていた様子で、日本の遊びや交流学习をしながら互いの異文化の理解を深めていました。

この交流が、一過性の受入れではなく継続的な国際交流への足がかりとなるのではないかと思います。





観光や地域交流の様子

交流学習以外の時間は、気仙沼市から南三陸町の各施設などをまわり、観光学習をしながら地域のことや震災のことなどの理解を深めていただきました。ホストファミリーとの交流もとても楽しんでいただけた様子でした。



震災に関しては学生の母校があるウィスコンシン州も水害や竜巻など比較的災害はあるものの、地震や津波に関してはとても衝撃を受けたようです。



本吉っ子を地域

と共に育てよう

六月三日、地域と学校が連携するコミュニティスクールの在り方について学ぶため専門家である白鳥円啓様を講師に迎え、勉強会を開催しました。

前半の講演では地域と学校が連携するためにいろいろな課題があり、「本吉っ子がどんな大人になって欲しいか」という目的に沿って熟議することが最も重要であり、目指すべき教育ビジョンを保護者や地域と共有し、目標の実現に向けて協働する仕組みこそがコミュニティスクールの在り方で



あると教わりました。

後半のワークショップでは熟議の訓練を兼ねて「本吉っ子にどのような大人になってほしいか」「そのために学校と地域ではどのような連携・取り組みができるか」について参加者を2つのグループに分けて意見を出し合いました。最後に2つのグループの意見を1つのワークシートにまとめて1人ずつ総評して勉強会を終えました。

教育関係者、公民館、振興会、民間企業など様々な立場の参加者から本吉っ子の未来のために沢山の意見やアイディアが出る中、今回のワークショップのような熟議への参加者が増えることで地域の社会教育は格段にバージョンアップしていくことをとても強く実感しました。

夏！恒例の

ビーチスポーツ

毎年恒例となってきました、
B-SPOFESTA2023inKOIZUMIが
七月二十二日、二十三日の二日間
BeachSportsProject主催で行われ
ました。今年はサーフィン＆ボデ
ーボード、ビーチグラウンドゴル
フ、フレスコボール、障がい者フ
ライングディスクの4種目が加わ
り全9種目での開催となりました。



フレスコボールは敵同士の対戦ではなく、ペアで制限時間内にどれだけラリー回数を重ねられたかを競うブラジル発祥のビーチスポーツです。障がい者フライングディスクは写真のように車椅子に乗りながらディスクを輪に正確に通す競技となります。健常者の方々にも体験していただいたそうで、ビーチスポーツでも枠を超えた交流ができると感じました。

気仙沼市長杯ビーチサッカー大会も同時開催され、白熱した大会となっていました。別日に東北大会も開催されており、小泉海岸で馴染みのあるスポーツになりつつあります。

ビーチスポーツによって世代間交流や他県からの交流人口の獲得など、沢山の可能性があるととても良いイベントだと感じました。今後小泉海岸でのビーチスポーツから目が離せません。



第一回委員会開催



六月二十七日、第一回委員会を開催しました。全体協議の前にチームごとのミーティングを行いました。

い、それぞれ今後の動きや事業を確認しました。その後チームごとに話し合った内容を全体に共有、意見やアイデアなど出し合って相互理解を深めそれぞれのチームが得意とする分野で、本吉町全体の連携を目指していったらと思います。

五月三十日に行われた令和五年度総会でも、津谷、大谷、小泉のまちづくり協議会との連携について意見が上がり、改めて本吉町内での連携の必要性を感じました。

ビーチクリーンへ参加



全海水浴場一斉ビーチクリーンへ参加。参加者からは普段ビーチクリーンをしているためか、とても綺麗だったとの声が聞こえてきました。



沼尻海岸に絶滅危惧種！？

大谷地区沼尻海岸にオサガメのストランディング(海生哺乳類が生死を問わず陸地へ座礁又は漂着すること)があるとの一報があり、関係機関の調査に同行しました。現地での解剖、埋設作業も含めとても貴重な経験をさせていただきました。

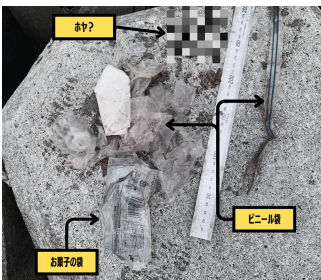
オサガメは世界最大のウミガメで、サイズは2mにもなります。太平洋海域では絶滅が危惧されているとても珍しいカメです。深海1000m以上潜ることが可能で、甲羅は他のウミガメと違い骨格の上に硬いウロコではなく皮膚で覆われています。今回の個体は甲羅のサイズが120cmで、これでも未成熟だそうです。解剖では筋肉の一部や上腕骨のサンプル



今回調査に同行させていただいたELNAの井ノ口様(右)と、調査補助として同行していたICU所属の木村様(左)。自分もクジラカギを使用してひっくり返したり運んだりしましたが、重さと臭いとの戦いでした。(一部写真を加工して掲載)

を回収しており、数少ないオサガメの研究に使われるそうです。

胃の内容物にはプラごみが入っており、実物を見るとより現実味が増し、改めて海洋ゴミ問題に目を向けていかなければいけないのだと痛感しました。



県の水産漁港部、防潮堤を管轄する県の方々が埋設場所へ運搬している様子と、オサガメが食べてしまっていたゴミなど(一部加工)。食べたものの目の当たりにするのは初めてで、非常にショックでした。ビーチクリーンなどで未然に防ぐしか方法はないのでしょうか。

児童のプログラミング体験



津谷学童保育センター様主催で『人型ロボットpepper(ペッパーくん)』を使用したプログラミング体験が行われました。ソフトバンク(株)の笠島様を講師に迎え、官民連携子育て支援団体であるコソダテノミカタ様、若者の居場所支援を行っているフリースペースつなぎ様の協力のもと開催。子ども達は学校配布のタブレットでゲーム感覚でプログラムを組み、実際にペッパーくんを動かす体験をしました。

各 SNS



Facebook



Instagram



YouTube

ご意見、ご感想はコチラ



ご意見フォーム

発行：本吉夢プロジェクト委員会

〒988-0393

気仙沼市本吉町津谷館岡10

事務局：本吉総合支所 地域振興課 内

☎ 080-3194-5505 / 0226-48-5505

✉ qqbc8de9k@galaxy.ocn.ne.jp

HP <http://www.motoyoshi-yumepro.com/>

本吉のイベント等は
夢プロHPを Check!!



ホームページ



LINE